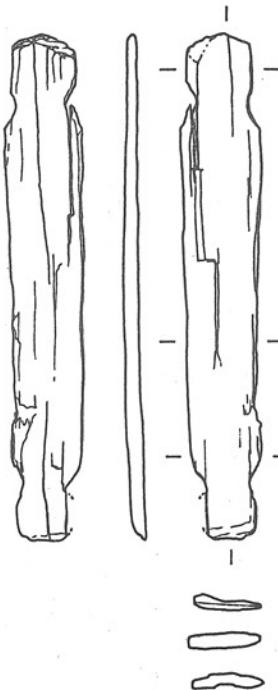


(動鳥取市教育福祉振興会『紙子谷古墳群・宮長竹ヶ鼻遺跡』(一九九四年))

(稻浜隆志)



『長登銅山跡』II (美東町文化財調査報告第五集)

本書は、山口県美祢郡美東町に所在する長登銅山跡の、一九八九年度から一九九一年度までの発掘調査の報告書である。東大寺大仏の料銅の产地であることが明らかになり、また銅生産に関わる多数の木筒が出土した遺跡として著名である。本誌一三号、一四号で紹介されたものを含め、計七五点の木筒が出土しており、このうち釈読可能な四九点について、実測図と写真（一部赤外線テレビカメラの画像を併用）を掲載する。

また、池田善文「古代の採銅をめぐって」、池田善文「古代銅製錬の実態と若干の問題点」、巽淳一郎「長登製銅所出土土器について」、池田善文「土器の基準資料と編年について」、小池伸彦「長登銅山出土の古代の木製品について」、八木充「長登木筒からみた古代銅生産」の六編の論考を収録する。

申込先 美東町教育委員会

〒754-101 山口県美祢郡美東町大田六一七〇一一

TEL ○八三九六一一〇五五五

頒価 五〇〇〇円（送料込み） B5判 二六六頁